勝浦ロータリークラブ
51期　THE WEEKLY REPORTS

２０１３－２０１４年度
No.09／Total　2377
例　会：2013.09.20
発　行：2013.09.27

ＲＩ会長　ロン D. バートン

第２７９０地区　ガバナー
関口　徳雄（浦安）

第５分区　ガバナー補佐
川名　幸雄（千倉）

第５分区　幹事
鈴木　健史（千倉）

第２７９０地区
ロータリー財団委員会
補助金小委員会　委員長
関　一憲（勝浦）

第２７９０地区
ロータリー財団委員会
資金推進小委員会　委員長
伊藤　正人（鴨川）

勝浦ロータリークラブ
会　長　中村　昇
幹　事　小林　悠紀

クラブ会報委員会
委員長　渡邉　ヒロ子
副委員長　関　一憲
委　員　手塚　明宏
渡邉　光一

◆報告内容

９月２０日（金）ゲスト卓話

心研 野球塾講師『地域の子供たちのために』

◆本日の例会

９月２７日（金）ゲスト卓話

目代純平氏『子供を守る携帯教育』

◆次回例会

10 月４日（金）米山奨学生卓話

10 月 11 日（金）

ガバナー公式訪問予行演習

10 月 18 日（金）ガバナー公式訪問

◆会長挨拶　中村昇会長

皆さんこんにちは、２週間の御無沙汰で御座います。先日行われた勝浦大漁祭りも盛大かつ無事に終了することが出来、お疲れ様でした。また心配しておりました東京オリンピック、パラリンピックが２０２０年に開催されるようになり、本当に嬉しく思う次第で御座います。

おもてなしの気持ちで迎えられまた、日本の最先端技術で開会式が出来ればと思います。ここで、突然ですが、皆様方に訃報の知らせをしなければなりません。大変残念ですが当ロータリークラブ会員でありました「渡辺　保さん」が１４日に亡くなられました。詳しい死亡原因はわかりませんが満５５歳という若さでこの世とお別れしなくてはならなくなりました。故人に今までのロータリークラブ会員として取り組まれたご功績に対し、謝意を表するとともにここに御列席の皆様で故人渡辺　保さんのご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

５０歳過ぎから少々、心身の衰えを感じるようになってきました。手元の細かい字が読みづらくなって、老眼鏡を購入、何を見るのも手離せなくなりました。手に持っていたものをちょっと置いて別の作業をしてしまうと、どこに置いたか忘れたり、目的地に行っては見たけれど何しに来たのか忘れてしまう。また自分が思っているように身体が動かない。「こんなはずではない」と焦っても動かないことは事実。「これが老いなのか」と気づかされますが会員の皆さんは如何でしょうか。

敬老の日もつい先日迎えました、日本は今や高齢化社会に突入しましたので、本日はこの高齢化社会を迎える長寿大国日本についてお話させていただこうと思います。前例のない速さで進む高齢化。２０２５年には高齢者人口は約３，５００万人に達するとも言われています。日本は世界に先駆け既に超高齢化社会に対峙している。政府はこれを逆境の中の好機ととらえ、成長戦略の重点領域の一つに「健康・医療」を位置付けた。医療・介護サービスの高度化、生活支援サービス・住まいの提供体制の強化、ロボット介護機器開発の推進等を計画している。日本の６５歳以上が全人口に占める割合、高齢化率は１９７０年からわずか２５年間で７．１％から１４．６％に倍増、この数字は欧米と比較して群を抜く速さで、現在、高齢化率は２３．３％に達しているようです。

「老い」とどのように向き合っていくべきかを考えるときに、我々はその歪み、軋轢のただ中でことさら悲観的になり過ぎていないだろうか。しかし、そうではない。永く健康で、豊かに生きる。長寿社会は本来、喜ばしいことなのでしょう。

事務局：勝浦市浜勝浦１番地 遠見岬神社内 TEL:0470-73-0034 FAX:0470-73-2007 Mail: office@katsuura-rc.org
例会場：東急ハーベスト勝浦 毎週金曜日 12:30-13:30 TEL:0470-76-0109 FAX:0470-76-0109

リノベーションによって生まれた高齢者住宅での新たなコミュニティの創造。そこで垣間見たのは「社会との連携」「ゆるやかなつながり」のなかで活き活きとした日々を送る現代高齢者の若々しさ。６５歳以上を高齢者、７５歳以上を後期高齢者とする定義はもはや形骸化したと言っても過言ではないと思います。人類がかって経験したことのない長寿大国となった日本。世界に誇ることのできる長寿社会の在り方、システムを模索する試みが始まっています。

　ロータリアンを名乗り、実践していくには何といっても健康でなくてはなりません。

会員の皆さんも健康には十分気をつけて過ごしましょう。

◆委嘱状授与 2013-2014 年度 国際ロータリークラブ第 2790 地区　選挙管理委員　釜田英之君

◆委員会報告

◇社会奉仕　水野敬泰 担当理事

1)うつくしま福島の旅のご案内が来ております。我々勝浦ＲＣとしましても、大変に縁の深い所ですから、ぜひ都合をつけて参加できれば、と、ご協力お願いします。

2)Ｂ－１グランプリは、みんなで参加して、ポリオ撲滅を目指してペットボトルのキャップ集めを行います。会場内のごみ集めも含めて、ボランティア清掃活動をがんばりましょう。ご協力よろしくお願い致します。渡辺ヒロ子君の自宅前に８時集合でお願いします。

◆ニコニコ BOX　親睦活動委員会　山本太郎委員長

◇ 本人誕生日

斉藤豊久 君　　山本太郎 君

◇ 自主申告

水野敬泰 君　　釜田英之 君

渡辺ヒロ子 君　　関一憲 君

◆ゲスト卓話　　心研野球塾 講師

野球を通じて心を研く、という意味でつけられた『心研野球塾』の講師の皆さん（３名）にお越し頂きました。

渡辺昌俊会員を含む、野球塾の講師の皆さんは、野球が大好きで、学生時代は各々高校・大学野球で大活躍しプロを目指していた方々。近隣地域の子供たち一人ひとりと真剣に向かい合って、野球と心を研究し、全くのボランティアで指導しているという。今日は野球塾の指針や日頃の練習の様子について伺った。

溝口　次郎　氏

磯野　典正　氏

【塾名の由来】
1．真剣に野球に取り組む
2．心を研く
3．心を研究する

【塾の理念】
　塾生の精神力（心）・技術力（技）・身体能力（体）・知識力（知）・思考力（考）のバランスを考え、野球の技術向上はもとより、塾生相互の研鑽と交流を図りつつ、社会人としての必要な行動力と基礎力のアップ、野球に関わることによる塾生の心身の鍛錬および育成に貢献することを目的とする。

【塾の目標】
1．一流のプロ野球選手を輩出すること
2．一流の野球指導者を輩出すること
3．一流の社会人を輩出すること
4．地域貢献できる人材を輩出すること
5．社会貢献できる人材を輩出すること

【指導方針】
≪心≫
1．挨拶の徹底
　生活の基本である挨拶を大きな声でしっかりと当たり前に言えるようにし社会人として基礎を訓練する。
2．親や周りの人への感謝
　今ある自分は、親や周りの方々の協力や支援があったからこそであり、その感謝を、常に持つ人間形成をしていく。
3．プレッシャーに負けない強い心
　イメージトレーニングや思考トレーニングにより、マイナスをプラスに、ピンチをチャンスに捉えるクセをつける。
≪技≫
1．少人数制による個別指導
2．個々の長所を伸ばしていく指導
3．自主トレできるメニューの提供
　週１回の塾の練習だけで急な上達は望めない。また、野球部の練習では自己流になり、変なクセがつく可能性もある。自分で正しい自主トレができるメニューを提供し、技術力の向上につなげていく。
≪体≫
1．怪我をしない柔軟性
2．野球に必要な能力ＵＰ
3．定期的な体力測定

≪知≫
1．専門家による講義
2．野球観戦
3．ルールや戦略
≪考≫
1．押しつけ指導をしない
2．問題意識を常に持つ
3．何のための練習なのか明確化する

◆出席報告　手塚明宏 出席委員長

会員数 37 名
出席数 26 名
ＭＵ　 ７名
欠席　 ４名

本日の出席率は、　８９．１９％でした。

あ

あ